

基礎情報

No. 279	名称 ほへいだいさんれんたいせんぼつしゃいれいひ
不明	歩兵第三聯隊戦歿者慰霊碑

建立年月日 1984(昭和59)年11月19日	改修・移設等歴 —
----------------------------	--------------

所在地番 宮古島市上野字野原鏡原1190-354	座標 24.76502528	地目 原野	地積 (㎡) 336.00
-----------------------------	-------------------	----------	------------------

規模 (幅M×奥行D×高Hcm) [主碑]全体:267*167*281、碑身:85*73*177/[由来記碑]全体92*13*112、碑身92*13*96/[<観音菩薩像>]全体:78*75*220、像:38*38*85/[燈籠]全体:65*70*176、燈籠:61*61*162

素材 【主碑】碑身:自然石(不明)割り肌仕上、台座:鉄筋コンクリート造+(上面のみ)砕砂利洗出し仕上・琉球石灰岩方形張り仕上+正面嵌込み[戦没者名記板:黒御影石磨き仕上]/【由来記碑】碑身:黒御影石磨き仕上、脚:琉球石灰岩/【歩兵第三聯隊 鎮魂之碑】略/【<観音菩薩像>】本体:自然石(不明)小叩き仕上、台座:琉球石灰岩表面加工無、香炉:自然石(不明)/【灯籠】:白御影石小叩き仕上/【庭】:コンクリート・砂利敷・琉球石灰岩乱形張り/【鎖柱】:琉球石灰岩
--

建立者 旧歩兵第三聯隊歩三会有志	管理者 不明
---------------------	-----------

碑文等

【主碑】
 <前面> 歩兵第三聯隊/戦歿者慰霊碑/埼玉県知事畑和書
 <台座前面> 裨田英雄 関田英雄 福田泰藏 浜崎輝夫 秋山久夫 野口福一 遠藤豊/安栖定助 今井三郎 粕谷精一 櫻田芳弘 竹中清/相澤甲 岩井時夫 加治繁 笹山久一 宅摩博太郎 新堀祐造 丸山政次/會田祐三 岩崎一男 加藤忠江 定國銀次郎 竹内元生 新里初雄 丸山信章/青木勇 岩崎徳次 加藤三郎 座間義郎 田辺英明 西岡友吉 丸山博/秋山雄二郎 岩澤泉一郎 加藤清八 澤辺祐治 玉木兼一 根田信一 三浦實/浅間俊次 岩田稲造 加藤重通 志賀晋八郎 田巻勝美 根本政信 三木清/浅井欣哉 岩本勝之 景山康夫 信田春次 辰見重夫 根本清助 三田榮/麻生悦治 宇井哲夫 金井菊壽 宍倉八郎 立石久重 野口棟吉 三谷正治/雨宮武臣 梅田力 金澤博 柴田吉三 巽昇 能島要市/矢野孝 内海金蔵 川村功 篠原莊一郎 田村文男 萩原新吾 宮内正市/天羽内匠 内田明 鎌田健治 篠原和光 地曳次郎 萩原忠治郎 宮島義美/天津内匠 内田正徳 鎌形徳積 篠原道夫 塚田繁 萩原孝一 宮國玄榮 鮎川鑛蔵 江ヶ崎佐一 金子勝雄 滋田源七 塚本貞次郎 萩野力造 水落博/新井忠次 江澤力雄 上地義雄 島崎穰吉 土田謹治 羽生宇一郎 水越清吉/荒井正廣 遠藤清 鴨下静夫 清水高義 土田功 橋本敬二 見村肇/荒木信一 遠藤幸一 鴨志田利貞 渋井光平 網島榮次 蜂谷幸一 村田勝男/荒木勝 小川正 唐笠辰五郎 庄司重次 椿甚一 蜂谷吉照 最上由夫/荒田一郎 小川正雄 狩野光幸 白石勝 角田俊夫 椛澤修一 森豊/荒畑豊吉 小川喜作 川満徳 須賀慶親 都築秀雄 塙清次 森五兵衛/安藤和男 岡本亨二 神田清一 菅原治 坪井善次郎 長谷川清次 森田吉久/井手直 岡本重雄 岸喜一郎 杉井敏光 鶴田誠一 長谷川鉄哉 森田太郎/伊藤道隆 尾形惟隆

【由来記碑】
 <前面> 由来/歩兵第三聯隊は明治七年十一月創立、同年十二月十九日軍旗拜受、東京に駐屯し以後西南の役、日清日露の両戦役に参加、昭和十一年五月渡満後は同十二年チャハル作戦、同十四年ノモンハン事件と転戦したのである。/太平洋戦争に於て南西諸島方面の戦雲急を告げた昭和十九年八月通稱名の満州才九七部隊を豊才五六二〇部隊に変えて北満より急遽宮古島に転じた。/聯隊の主力は東京埼玉千葉の出身者であったが宮古島に於ては当地区出身者も参加、現在のの上野村下地町の防衛に任じ、飛行場及び陣地の構築対空戦闘等に先輩の伝統を継承して死力を尽くしたが昭和二十年八月十五日終戦となり八月三十一日軍旗奉焼、七〇年九月月に亘る聯隊歴史は終了したのである。/宮古島防衛一年余、その間祖国の勝利を信じて国に殉じた戦友は四五一名に達する/我々は亡き戦友の霊を慰めてその榮譽を顕彰し恒久の平和を祈念して此処に慰霊碑を建立するものである 合掌/昭和五十九年十一月十九日 歩三会有志

写真

